

市長交際費の対応基準

平成 18 年 4 月 1 日
平成 25 年 4 月 1 日改正

1 趣旨

この基準は、市長（市長を代理する者を含む。）が市政の円滑な運営を図るため、本市を代表して行う個人又は団体との交際に要する経費（以下「交際費」という。）の支出について、必要な事項を定めるものとする。

2 支出範囲等

交際費は、交際上必要と認められる相手方（社会通念上妥当と認められるものに限る。）に対し、社会通念上儀礼の範囲の額を支出するものとし、その支出区分等は次の表のとおりとする。

支出区分	支出内容	支出金額	備 考
会 費	会費等により開催される行事等への参加に係る経費（会食を伴うもの、又は記念品等が出るものに限る）	・ 会食を伴うもの 3,000 円 ・ "（料理屋等） 5,000 円 ・ 会費が明確なもの 実費 ・ 記念品が出るもの 3,000 円	
見舞い	市行政関係者等の病気等に対する見舞いに係る経費	・ 5,000 円～10,000 円	対象者は、弔慰基準の本人を原則とする。
祝 金	祝賀会等各種行事のお祝いに係る経費	・ 叙勲等祝賀会 10,000 円～20,000 円 ・ その他＝その都度協議する。	職員の結婚式には、原則として出席しない。
弔 慰	市行政関係者等及びその親族の葬儀等に対する香典等に係る経費	別表参照	通夜又は告別式に参列した場合のみ支出することを原則とする。出席できない場合は、弔電対応ができることとする。
記念品等	手土産及び各種行事における記念品等に係る経費	・ 記念品＝5,000 円を上限とする。 ・ 賞品代金＝5,000 円を上限とする。 ・ 手土産＝実費	
その他	市長が特に必要と認めた場合	・ 献花＝10,000 円 ・ 激励＝5,000 円を上限とする。 ・ その他＝その都度協議する。	

(別表) 弔慰関係一覧表

区 分	本人			配偶者		父母	
	香典	枕花	線香	香典	枕花	香典	枕花
国会議員	2万			1万	-	1万	-
地元県議会議員	2万			1万		1万	
市議会議員	2万			1万		1万	-
元市議会議員	1万			-	-	-	-
元市長	1万			-	-	-	-
元三役	5千	-		-	-	-	-
他市長・関係町村長	2万	-		1万	-	1万	-
元他市長・関係町村長	1万	-		-	-	-	-
他市副市長・関係副町村長	1万	-		-	-	-	-
各種委員・各町自治会長	5千	-		5千	-	5千	-
自治委員	5千	-		-	-	-	-
各種審議会等委員	5千	-		-	-	-	-
市を単位とする各種団体 代表者	5千	-		-	-	-	-

：対応

：協議

- (1) 父母とは、実父母、義父母（同居のみ）とする。
- (2) 元三役とは、副市長、助役、収入役、教育長とする。
- (3) 各種委員とは、教育委員、選挙管理委員、監査委員、公平委員、農業委員、固定資産評価審査委員、人権擁護委員、保護司、民生・児童委員、行政相談員とする。
- (4) 各種審議会等委員とは、本市の付属機関の委員、任意で設置した委員会等の委員をいう。
- (5) 各種団体とは、消防団、水防団、農事改良組合連合会、商工会議所、老人クラブ連合会とする。
- (6) 上記記載以外で疑義が生じた場合は、その都度、協議する。